令和6年度 名寄市教育改善プロジェクト委員会

# 教育経営の充実に関する研究グループ

令和7年1月21日 発表者 名寄東中学校 久保 康徳

# 1 学校運営協議会(CS)の推進〜コミスク通信の編集・発行〜

目 的

学校運営協議会の意義や活用方法の再認識

内容

第1号:学校運営協議会の意義

\*地域の子供は、地域で育てる

コミスク通信 こちらから**企** 



\*持続可能な学校の推進

第2号:協議委員の任用とその在り方

\*学校と共に考え行動する幅広い地域住民や団体の代表

第3号:学校運営協議会の内容

\*学校課題や困り感の共有による当事者意識の醸成と

熟議の実現

第4号:評価シートの活用と分析

\*運営状態の把握と改善

## 2 働き方改革の推進 (1)名寄市学校働き方改革指標「Nayoro Diamond Action」

#### **Action 1**

地域・関係機関等と連携した 教育活動の推進

- ○適切で効果的な教育活動の 編成・実施(行事を含む)
- ○保護者・地域や学校運営協議会、地域学校協働本部等と連携した教育活動の拡充

# Mayoro Diamond Action

#### Action 2 ICTの効果的な活用

- ○調査や情報共有へのICTの活用
- ○発達の段階に応じた I 人 I 台端 末とAIドリルの活用

チーム学校が保護者・地域と協働して

先生キラキラ 子どもワクワク 楽しい学校

#### **Action 3**

意識改革と環境の改善

- I か月の時間外在校等時間45 時間以内の徹底
- ○計画的年休(年間15日以上)や 男性の子育でに関する休暇(配 偶者出産休暇、育児休暇等)の 取得奨励

この4つのActionは、市内IO校が統一して取り組んでいくための指標です。 校種や学校規模に合わせた取組を展開し、上記の姿を目指します。

#### **Action 4**

部活動指導の負担軽減(中学校のみ)

- ○部活動休養日の完全実施
- ○活動時間の遵守

#### 2 働き方改革の推進 (2)名寄市学校働き方改革の取組の方向性(案)

名寄市学校働き方改革「Nayoro Diamond Action」に基づく実践と検証・改善

## 実践

- ○校種・学校規模に合わせた名寄市学校働き方改革「Nayoro Diamond Action」の 実践
- ○4つの視点 (Action)に合わせて各校のコアチームが中心となり働き方改革を推進
- ○働き方改革アンケートによる実践の評価(各校・市全体)
- ○名寄市学校働き方改革「Nayoro Diamond Action」の検証

#### 検証

○各校でアンケート結果をもとに、取組を改善

#### 改善

○各校の実践・評価をもとに名寄市学校働き方改革「Nayoro Diamond Action」の 修正

> 「チーム学校が、保護者・地域と協働して 先生キラキラ 子どもわくわく 楽しい学校」の実現

#### 働き方改革の推進 (3)名寄市学校働き方改革指標「Nayoro Diamond Action」実践例

講師

地域・関係機関等と連携した教育活動の推進

果 的 活 用 劾 な

#### 地域人材・保護者の活用

- 読み聞かせ
- ・実習補助、指導の補助
- 交通安全街頭指導
- ・ 武道の指導

#### 関係機関との連携

- ・ITモラル教室等の
- ・職場体験学習受け入れ
- ・研修施設等の利用

計画年休・子育て参加

#### 調査や情報共有(達成率100%)

- 校務支援システムの活用
- ・保護者連絡メール
- 会議資料のペーパーレス化
- 日報のデジタル化

部活動休養日の徹底

#### タブレット端末の活用

- 健康観察(50%)
- 家庭学習(40%)
- AI ドリル (100%)

意 境 識 堇 環 改 善 لح

時間外勤務45時間以内

・出退勤管理記録の活用

- ・定時退勤日の設定 ・年休の奨励と推進月間
  - ・スライド勤務の活用に
  - よる柔軟な働き方 取得しやすい職場作り

•平日1日、休日1日 部活動ガイドラインの

徹底

活動計画及び活動実績

部活動指導の負担軽減(中学校のみ)

の作成・提出

部活動活動時間の順守

• 平日2時間、休日3時間

内は活用率

# 3 成果と課題

	学校運営協議会(CS)の推進	働き方改革の推進
成果	<ul><li>○学校運営協議会の意義や内容等について教職員やCS委員との共有</li><li>○学校運営協議会についてCS委員や地域の理解の深まり</li></ul>	〇親しみやすく身近に感じられるテーマの設定 〇アクションプラン(第3期)を もとに教職員個々に必要な指標を厳選
課題	<ul><li>●評価シートの活用と評価に基づく運営改善</li><li>●地域コーディネーターを軸とした地域学校協働本部との連携による持続可能な教育活動の推進</li></ul>	<ul> <li>Nayoro Diamond Actionの実践・検証・改善</li> <li>働き方改革を自分事として取り組める意識改革の推進</li> </ul>